

札幌市委託事業

# 誰もが住みやすい あんしんのまち コーディネート事業

事業報告書

(令和5年度)



SAPPORO

さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール



# はじめに

## 災害に備えた地域での支え合い

### ～誰もが住みやすいあんしんのまちを目指して

平成 23 年に発生した東日本大震災や平成 30 年に発生した北海道胆振東部地震、相次ぐ台風の大風等、近年日本各地で未曾有の災害が発生しています。

そのため、災害を他人事として捉えるのではなく、我が事として継続して考えなければならないと強く感じているところです。災害が発生した場合の避難や近隣住民・支援者による避難支援、その後の避難生活においては地域の助け合いである「共助」が重要な役割を果たします。障がいのある方にとっても、日頃の備えと同時に、地域との関わりや避難について考えておくことが大切です。

平成 25 年の災害対策基本法の改正により、札幌市は町内会・自治会等の申請に応じて『避難行動要支援者名簿情報』を提供できるようになりました。名簿情報を活用し、避難の際に支援が必要とされる方の安全が迅速に確保されるよう、地域での取組が行われてきております。

札幌市では障がいのある方が安心して避難できるよう、平成 28 年度から町内会・自治会等の取組を側面支援する「誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業」を開始しました。本事業では、町内会・自治会等に対して、障がいのある方の避難支援にあたっての留意点を解説する、個別避難計画の作成方法をお手伝いする等の活動を行っています。新型コロナウイルス感染症をきっかけに、災害が発生した際の感染症にも対応したガイドラインの作成等、感染対策を踏まえた取組・備えの整備が急がれています。

感染症対策と自然災害に備えた地域での支え合いから、誰もが住みやすいあんしんのまちを目指して、一人でも多くの方にこの事業を活用していただければ幸いです。

令和 6 年 4 月 札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課  
さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール

## 誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業とは

- コーディネーターが、障がいのある方の個別避難計画の作成等を支援します！

障がいのある方の避難支援で、お困りのことはありませんか？

- ◆ 避難行動要支援者名簿情報の提供を受けたが、障がいの種類によって、どのような接し方をすればよいのか分からぬ。
- ◆ ○○の障がいのある方の個別避難計画を考えたいが、どのような配慮を行つたらよいのか分からぬ。



町内会・自治会、地区社会福祉協議会（福祉のまち推進センター）、障がいのある方々の団体等に対して障がいのある方の支援の専門家がコーディネーターとして、障がいのある方の避難支援を考えるにあたり、助言を行う等、地域での災害に関する取組への支援をします。

- コーディネーターが可能な支援



- ◆ 支援に当たっての助言
- ◆ 避難行動要支援者と支援者のマッチングへの助言
- ◆ 各避難行動要支援者の個別避難計画への助言
- ◆ 避難訓練への助言 等

※ 要支援者にお会いする場合はご本人の了解をいただきながら進めさせていただきます



## ●令和5年度の主な活動内容

- ◆ A 単位町内会より、「役員会にて災害時の要配慮者避難支援について理解を深める方向で総意を得た。障がいのある方の関わり方等、事例紹介をしてほしい」と依頼を受け、町内会役員向けに平時における具体的な準備や取組事例の情報提供を行いました。
- ◆ B 単位町内会では「障がいのある方の避難支援について、町内会として何を準備し、何から取組んでいくと良いのか考えたい」と相談いただき、制度説明や事例紹介、グループワークにて意見交換を行いました。
- ◆ C 障がい福祉サービス事業所（児童）より、「災害時に子ども達を安心安全に避難させるために、取組むべきことを考えたい」と研修依頼がありました。研修企画から一緒に考え、職員の自助・職員の収集基準・避難や安否確認の方法等について、2回の研修を実施しました。
- ◆ 自立支援協議会 D 地域部会では、障がい当事者 Aさん（身体障がい）が参画しており、障がい福祉サービス事業所の職員向けに 2 回研修を実施。1回目は災害時の対応や地域にある社会資源の抽出、障がい当事者 Aさんと面談の実演。2回目は障がい当事者 Aさんをモデルに、まちづくりセンター単位で Aさんがその地域に住んでいた場合を想定して避難ルートや避難場所、課題抽出等の意見交換を行いました。
- ◆ 札幌市の各区社会福祉協議会へ事業報告書の送付を行い、本事業の説明と地域での町内会活動や支援状況について情報共有を行いました。
- ◆ 各町内会長・自治会長、福祉事業所等を対象に「災害に備えた支え合い研修会（※）」を実施しました（参加人数：約 270 名）。

※「災害に備えた地域での支え合い研修」とは

災害時における障がいのある方の避難支援に関する理解を深めていただくため、参考となる町内会・自治会の取組みを多くの方に知つてもらうことを目的に、本事業で毎年1回実施しています（令和2年度～令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止）。



## ●誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業の利用方法

まずは、以下にご連絡ください。費用は、掛かりません。

### ◆ さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール

住所：札幌市中央区南8条西2丁目 市民活動プラザ星園 302号

電話：011-213-0171 ファクシミリ：011-213-0172

メール：[sapporo@one-all.net](mailto:sapporo@one-all.net)

ホームページ：<http://one-all.net/>（「札幌 ワン・オール」で検索）

## ●さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オールとは

本事業は、札幌市から札幌市基幹相談支援センター「さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール（通称ワン・オール）」に委託され、専門のコーディネーターを配置して行っています。

ワン・オールの主な仕事は、障がいのある方やそのご家族等へ支援を行う相談支援機関等の後方支援と地域生活支援の体制づくりです。たくさんの方々と協働しながら、誰もが安心して生活できる地域づくりを推進しています。

日頃から障がいのある方に関わり、相談支援専門員として活動しているコーディネーターが、町内会・自治会や障がい福祉サービス事業所を支援いたします。

コーディネーターは、相談支援専門員のほか、社会福祉士等の国家資格を持っている障がいがある方の支援の専門家です。



# 取組事例の紹介と当事業の関わり

## 事例1 前田ゆたか町内会（単位町内会）

### 地域の概要

前田地区は、明治28年（1895年）に旧加賀藩主・前田家が「前田農場」を創立したのが始まりで、古くから栄えていた商店街に加え、大型店等が数多く進出し、宅地分譲されて多くの人が転入してきた背景があり、手稲区で一番人口の多い地域です。また、公園・緑地が多く、区役所等の公共施設、教育施設、病院、商店街等の利便施設が集積しています。前田ゆたか町内会では、平成18年（2006年）に「前田ゆたか町内会防犯パトロール隊」を結成、平成23年（2011年）より1人暮らしや夫婦で暮らしている高齢者を対象に「見守り・訪問活動」を実施しています。防災活動にも積極的に取り組まれており、札幌市の「地域防災計画に係るモデル地区」に指定されています。

### コーディネート事業への依頼内容

#### <相談の経緯>

札幌市危機管理局危機管理課より、ワン・オールへ「危機管理部主催でワークショップを企画しているが、障がいのある方や高齢者の避難支援について前田ゆたか町内会より要望があるって、研修講師の対応を一緒に行ってほしい」と連絡がありました。後日、関係者が集まってワークショップの企画内容を検討。前田ゆたか町内会としては、『見守り活動されている背景から要配慮者の把握はできているが、要配慮者と支援者のマッチングや避難支援のイメージが難しい』と伺いました。研修では、避難支援に向けた事例紹介や平時に何から取り組めそうか等を伝え、ワークショップにて具体的な行動計画を考える内容としました。

#### <依頼内容>

- 1 平時・災害時における要配慮者避難支援の理解を深める研修会を企画したい。
- 2 研修後、具体的な行動や取組みに繋げていきたい。

### コーディネート事業で関わった内容

- 1 研修会企画の提案と実施
  - ・危機管理部防災推進担当係長等との事前打合せ
  - ・関係機関とのネットワークづくりについて情報提供
- 2 研修会当日・研修後の支援
  - ・研修講師として対応
  - ・研修後、危機管理部防災推進担当係長と、課題整理や共有を実施



## 研修会当日の内容について

研修当日は、前田中央会館にて、町内会役員を中心に 27 名が参加されました。

### テーマ 「平時・災害時における要配慮者避難支援」

講 師 さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール 高村 亮太

札幌市からの委託事業やコーディネーターの役割について説明を行い、コーディネーターがこれまで関わった事例、障がいのある方に対する避難支援のポイント（平時・災害時）について紹介しました。防災活動は町内会だけで進めるのではなく、関係機関と一緒に工夫しながら、取組むことを確認しました。

## ワークショップ

ワークショップでは、『平時における取組み』をテーマに、意見交換や具体的な行動計画を検討し、誰がどのように取組むかを話し合いました。

## 研修会後の町内会の取組み

研修後、「地域防災計画に係るモデル地区」として、町内会の福祉部長より『コロナ禍で進まなかつたが、個別避難計画の作成や支援者のマッチングに向けて取組みが少しずつ進み始めた』と伺いました。これまで取り組んできた見守り活動（平時）が、地域の方々と顔の見える関係となり、避難支援に役立っているようです。



## 事例2 個別避難計画の作成支援（身体障がいのある当事者）

### 個別避難計画の作成に至った経過

身体障がいのある当事者（女性）より、ワン・オールへ相談があり、「マンションに住んでおり、地震や停電があったときにエレベーターが止まってしまう。避難はどうしたらよいか…」と話されたことから、コーディネーターが自宅訪問し、生活状況・住環境等の確認を行っていくことになりました。

### 個別避難計画を作成するまでの課題

- ・町内会情報がない
- ・基幹避難所はハザードマップで確認できるが、本人の身体状態に合わせて避難時に活用できるのかわからない。
- ・災害時に障がい福祉サービス事業所が、どのように対応するのかわからない。



本人の体調面を考慮し、相談支援事業所が中心となって、情報収集・課題整理・役割分担を行った。

### 個別避難計画の作成に向けた情報収集や課題の整理

- ・当事者本人の自助として、備蓄品購入の有無
- ・緊急連絡先の確認
- ・基幹避難所（小学校）までの避難ルート、移動方法
- ・障害福祉サービス事業所の協力体制
- ・在宅避難以外の選択肢の検討

### 個別避難計画の作成を通しての気づき

- ・本人の意向として、身体状態を考えると基幹避難所への避難ではなく、在宅避難を優先にするという選択ができた。
- ・周りのサポートだけでなく、まずは自分自身の備えとして備蓄品の準備を行うことに、当事者自身が気づいた。
- ・停電時にエレベーターが使えないときの対応は課題として残った。

本人を含め、関係者と災害時を想定した議論を重ねることで、平時における支援体制の在り方を考える機会となり、避難支援における地域課題が少しずつ明らかになりました。



# 要配慮者避難支援に関する動画を作りました！！

町内会が避難支援に取組む際のポイントや個別避難計画の作成等をまとめた動画となっております。札幌市ホームページまたは以下の QR コードからアクセスの上、ご視聴ください。地域での要配慮者避難支援にご活用ください！！

知っておきたい！町内会の避難支援～基本編

知っておきたい！町内会の避難支援の実際～訪問編



誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業

## 町内会の皆様へ 『災害その時 ～助けの必要な方を支え合おう』

動画が  
できました！！

札幌でも台風や集中豪雨、大雪など、避難が必要となる状況が発生しています。そんな時、近隣にお身体の不自由な方、高齢の方、妊娠さんなど、いざという時に声かけやお手伝いが必要な方はいらっしゃいませんか？地域での日々の取組みに役立つような動画を作成しました。ぜひ、ご活用ください。

動画：日頃から準備を！いざという時に役に立つ！『知っておきたい！シリーズ』

動画① 「知っておきたい！町内会の避難支援～基本編」  
内容：いざという時に町内会のお手伝いが必要な方とはどのような人たちでしょう？  
その時に慌てないためには、事前の準備が必要です。必要な準備や具体的なお手伝いの内容をまとめています。

動画② 「知っておきたい！町内会の避難支援の実際～訪問編」  
内容：町内会役員が障がいのある方の自宅に訪問します。まずはお互いに知り合うところから始まります。具体的なやり取りから、ご希望や避難等に必要なことを確認していきます。実際の活動へつながる、イメージ作りにご活用ください。

※動画の音声が小さく、聞こえにくいことがあります。ご了承ください。

【動画に関するお問い合わせ先】  
・札幌市 廉がい福祉課 TEL: 011-211-2936  
・さっぽろ地域づくりネットワーク サン・オール  
TEL: 011-213-0171  
札幌市中央区南8条西2丁目 市民活動プラザ基層 302号

★終篇は作成準備中です。しばらくお待ちください。。。■■■■■

「札幌 あんしんのまち  
防災 いざという時で  
備蓄！」

<https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushih/onshinnomoto/>

★動画について、ご不明な点、ご質問等がございましたら、下記の問い合わせ先までお気軽にお連絡ください。

SAPPERO (02-204-22-1406  
34-2-2011)

サン・オールは札幌市より「誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業」を受託しています

左にあるチラシは、コロナ禍で様々な地域活動が停滞した際に、少しでも避難支援の理解・促進を目的に制作しました。

チラシで紹介している動画は、札幌市ホームページ（誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業）・札幌市公式 YouTube に公開されています。

また、令和4年度に札幌市内の単位町内会全 2181 団体へ本チラシを送付しています。制作した動画は DVD にして、行政の担当部署（まちづくりセンター等）へ配布しました。インターネット上で視聴できない場合は DVD をご活用ください。



# 参考資料

---

## <用語解説>

### ● 要配慮者

災害が発生した場合、安全な場所への避難行動や避難場所での生活において大きな困難が生じ、まわりの人の手助けを必要とする人たちを、「要配慮者」といいます。これらの人たちには、災害時に特別な配慮が必要となります。例えば、移動が困難な人、車いす、補聴器等の補装具を必要とする人、情報を入手したり、発信したりすることが困難な人、急激な状況の変化に対応が困難な人、薬や医療装置が常に必要な人、精神的に不安定になりやすい人等です。

### ● 避難行動要支援者

要配慮者のうち、災害の発生又はそのおそれがある場合に、自ら避難することが困難で、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るために特に支援を要する方たちを「避難行動要支援者」といいます。例えば、要介護の認定を受けている方、居宅介護、生活介護、共同生活援助、移動支援等の障がい福祉サービス等の支給決定を受けている方、身体障害者手帳1～2級の方、視覚障がい、聴覚障がいのある方、療育手帳Aの方、精神障害者保健福祉手帳1級の方、難病のある方等です。

### ● 避難支援等関係者

避難支援等の実施に携わる関係者を「避難支援等関係者」といいます。災害の発生に備えて、避難行動要支援者本人の同意を得て、避難行動要支援者名簿情報の提供を受けることができる団体です。例えば、単位町内会・自治会、連合町内会、福祉推進委員会、地区福祉のまち推進センター運営委員会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、自主防災組織等です。

※ 札幌市要配慮者避難支援ガイドラインをもとに作成。ガイドラインは札幌市ホームページに掲載。

<http://www.city.sapporo.jp/hokenfukushi/fukushijosetsu/youhairyosya.html>



## 参考資料

### <インターネットで探せる情報>

※各項目の「タイトル」を web で検索すると、  
最新の詳しい情報を調べることができます。



#### ● 「要配慮者避難支援に取り組む団体の皆様へ」(札幌市保健福祉局地域福祉・生活支援課)

- ・災害時支え合いハンドブック
- ・様式例一覧（地域での取組みを進める上で活用できるチラシ等のひな型を掲載）
- ・災害に備えた地域での支えあい（避難行動要支援者名簿について）
- ・出前講座について 等

#### ● 「防災・危機管理 札幌市」(札幌市危機管理局危機管理課)



- ・いざという時のために、どこへ避難するの？
- ・地震や風水害に備える
- ・防災の取組み・計画ほか
  - ～避難所運営マニュアル、要配慮者二次避難所等
- ・災害危険箇所図（ハザードマップ）
- ・災害時の避難情報（警戒レベル、取るべき行動等） 等



#### ● 「札幌市 感染症」札幌市保健福祉局保健所感染症総合対策課)

- ・定点把握対象の感染症（週報告、月報告）
- ・ウイルスの検出状況（インフルエンザウイルス） 等



#### ● 「行政・民間が出している支援や制度に関するガイドライン」 認定 NPO 法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JV0AD）

- ・被災者支援コーディネーションガイドライン（発行：2022年3月）
  - ・要配慮者（障害児者、高齢者、子ども、女性・ジェンダー等）
- ※その他多数、情報が掲載されており、適宜更新しています。  
最新版は JV0AD ウェブサイト『ガイドライン (<http://jvoad.jp/guideline>)』を参照ください。



## モデル避難計画

参考様式です。避難計画はご本人と一緒に計画を立てることが重要です。  
ふりがなは、漢字を読むことが苦手な方も読みやすいように付けています。

### 基本情報シート1

# いざという時に

## 個別避難計画

### ちょうないかい 町内会

かいちょう しめい  
会長の氏名 \_\_\_\_\_  
(電話) \_\_\_\_\_ )

< 年 月 日 作成> 作成者名 :

しめい  
氏名 :

さん

でんわ  
電話 :

— —

じゅうしょ  
住所 :

ちょうめ  
丁目

ばん  
番

ごう  
号 (

めいとう  
マンション名等

ごうしつ  
号室)

●避難場所 基本的に以下の場所に避難しましょう。いくつかある場合は空白にご記入ください。

がっこうめい  
(学校名

じゅうしょ  
住所 :

でんわ  
電話 :

かぞく れんらくさき 等  
ご家族・連絡先等

ひとりぐ  
□一人暮らし

どうきょ  
□同居

べつきょ  
□別居

ひなん し  
避難のお知らせ

ひつよう  
□必要ない

ひつよう  
□必要 ( 電話で

ほうまん  
訪問して )

ひなんばしょ いどう  
避難場所への移動

じぶん いどう  
□自分で移動できる

どうぐ ひつよう  
□道具が必要 < 車 いす つえ その他 ( ) >

かいじょ ひつよう  
□介助が必要 < からだ ささ みまも た その他 ( ) >

しえんたんとうしゃ  
支援担当者

( )

こしょう  
呼称については

ちょうないかい  
町内会ごとに

てきぎへんごう  
適宜変更してください

しめい  
氏名

でんわ  
電話

— —



きほんじょうほう  
基本情報シート2

配慮してほしいこと、知つてほしいこと	いつも使用	いつも使用	つえ	くるま	車 いす	メガネ	いば	入れ歯 ( )
	アレルギー	アレルギー	ない	ある ( )				
	服用している薬	服用している薬	ふくよう	くすり				「おくすり説明書」添付 (あり・なし)
	かかりつけの病院	かかりつけの病院	びょういん				でんわ	(電話) -
	主な病気	主な病気	おも	びょうき				
	その他	その他	た		み	み	□見えない (見えにくい)	
				おと	き	□音が聞こえない (聞こえにくい)		
				もじ	ことば	りかい	□文字や言葉の理解がむずかしい	
				た	た	た	□その他 ( )	
特記事項	特記事項	とくじじょう						

きんきゅう じれんらくさきいちらん  
緊急時連絡先一覧

しめい かんけい だんたいめい 氏名 (関係・団体名)	れんらくさき 連絡先	びこう 備考
( )	でんわ 電話 : - - じゅうしょ 住所 :	
( )	でんわ 電話 : - - じゅうしょ 住所 :	
( )	でんわ 電話 : - - じゅうしょ 住所 :	
( )	でんわ 電話 : - - じゅうしょ 住所 :	



ついかじょうほう  
追加情報シート1

まん いち そな 万が一に備えて おくこと	<p>さいがいようひなん 災害用避難グッズはどこにありますか？（ ）</p> <p>ひなんばしょ い 避難場所まで行ったことはありますか？ <input type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>ちようないかい ひなんくんれん さんか 町内会の避難訓練に参加したことはありますか？</p> <p><input type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ</p>
	<p>じゅんび ほんにん きにゅう これから準備すること（ご本人ができることもご記入ください。）</p>

ひなん ひつよう も もの 避難のときに必要な持ち物について							
の くすり 飲んでいる薬							
なまえ ・名前（	かい 1回	じょう 錠	あさ <input type="checkbox"/>	ひる <input type="checkbox"/>	ゆう <input type="checkbox"/>	ひつよう <input type="checkbox"/>	ひつよう 必要なとき
なまえ ・名前（	かい 1回	じょう 錠	あさ <input type="checkbox"/>	ひる <input type="checkbox"/>	ゆう <input type="checkbox"/>	ひつよう <input type="checkbox"/>	ひつよう 必要なとき
なまえ ・名前（	かい 1回	じょう 錠	あさ <input type="checkbox"/>	ひる <input type="checkbox"/>	ゆう <input type="checkbox"/>	ひつよう <input type="checkbox"/>	ひつよう 必要なとき
〔ほか その他〕							
いりょう ふくしき き ようぐ 医療・福祉機器・用具等							
なまえ ・名前（	ちゅういてん 注意点等（ ）						
なまえ ・名前（	ちゅういてん 注意点等（ ）						
なまえ ・名前（	ちゅういてん 注意点等（ ）						
〔ほか その他〕							



## 追加情報シート2

じゆうきじゅつらん じゅう つか  
自由記述欄 ご自由にお使いください

- ※ ご本人もしくは、作成者とご本人が相談をして作成してください。
- ※ それぞれの町内会で避難計画書を用意している場合があります。一緒に計画を立てる場合は、当様式にこだわらず、記入しやすいものをご使用ください。また、写真を貼ったりする等、ご自身に合った避難計画書を作成してください。
- ※ 災害が起こると、電気や水道、ガスが止まり、福祉サービスや医療もすぐには受けられないことがあります。少なくとも3日間分の食料や必要なもの用意しておきましょう。万が一に備えて、利用している福祉事業所や医療機関に相談することも大切です。

この様式は札幌市公式ホームページからダウンロードできます。

<https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/anshinnomati/index.html>





札幌市は「心のバリアフリー」の更なる推進を目指し、心のバリアフリーを推進するシンボルとして「心のバリアフリー推進マーク」を作成しました。心のバリアフリーとは、障がいのある方等に対する差別や偏見といった心の障壁（バリア）を取り除き、お互いを認め合い支えあうことです。



ヘルプマークとは、義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方等、外見からは分からなくても援助や配慮が必要な方のためのマークです。また、緊急連絡先や必要な支援内容等が記載でき、普段から身に着けておくことで、困ったとき、災害時等に、周囲の援助や配慮をお願いしやすくするヘルプカードもあります。

札幌市委託事業  
誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業

さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール  
【札幌市基幹相談支援センター】  
(運営: 社会福祉法人あむ)